

市政の動き

9月定例市議会

市長総括説明から

9月3日、平成19年第4回市議会定例会が開会されました。はじめに、市長から施設使用料の徴収誤りと固定資産税の課税誤りについて報告とお詫びをし、続いて、当面する市政の諸課題ならびに提出議案について説明をしました。その概要をお知らせします。

安全に安心して暮らせるまち

○円山川緊急治水対策事業
国において事業の推進が図られています。

河道掘削

順次工事着手されており、7月28日にはひのそ島掘削の完成式を行いました。

六方内水対策

輪中堤設置工事が、梶原橋から新田橋の区間において、9月末完了に向けて進められています。

国府内水対策

国から提示された案について、地元で検討が重ねられてきましたが、7月11日に国府地区内水処理促進期成同盟会から国に対し、ポンプ設置のみ事業化することの要望がなされました。

小河江地区河道掘削

土砂処分地

6月末でおおむねの用地買収を終えました。9月末を目途に国において林地開発等の許可を得られた後、掘削土砂の搬入は平成20年4月から開始される予定です。

日高都市計画事業

稲葉川土地地区画整理事業

6月22日に都市計画決定を行い、本年11月の事業認可に向け、国、県および地元との調整を行っています。なお、区画整理事業は市で施行します。

総合健康ゾーン整備

7月12日、募集要項等を公表し、同19日には事業説明会を開催しました。今後、11月20日に応募提案書類の受付を行い、平成20年2月には優先交渉権者を決定したいと考えています。施設の維持管理運営については、指定管理者を指定する予定です。

○広域的障害児者

療育センター整備

北但1市2町での共同設置として整備を進めています。9月末の実施設設計業務完成に向け、保護者や専門家、県等の関係機関と検討・協議しているところです。

平成20年1月に工事着手し、9月完成、10月の施設開設を目指します。

人と自然が共生するまち

○コウノトリの

野生復帰の推進

9月22日に城崎町楽々浦で3羽を、同23日には日高町山本で2羽を放鳥されることになっていきます。また、同30日には出石町三木の段階的放鳥拠点に子育て経験のあるペアを移動させ、来春の繁殖期にふ化させた後、ヒナを巣立ちさせる計画とされています。

なお、同22日には「コウノトリと共生する地域づくりフォーラム」が開催されます。

また、7月にドイツで開催された湿地の生物多様性保全等に関する日欧共同ワークショップ・シンポジウムで講演し、豊岡の取組みは高い評価を受けました。

この日欧共同ワークショップ・シンポジウムが10月に日本でも開催され、5日、6日は豊岡が会場になります。ドイツなどから多くの研究者が来豊されますので、交流をさらに深めていきたいと考えています。

○広域ごみ・汚泥処理施設
北但行政事務組合を事業主体として、日高町上郷区に対して施設の受入れをお願いしてきましたが、上郷での建設は事実上不可能となりました。私たちは、何よりもごみを減らすことが第一ですが、それでも現実には発生するごみを、安全かつ衛生的に処理する責任を負っています。

北但1市2町のそれぞれの施設は、いずれも平成25年ごろには耐用年数を迎えます。目標である平成24年度の完成に向けて早急に新たな候補地の選定を行う必要があり、9月には候補地選定方式を決定し、年度内には候補地を決定できるよう作業を進めていきます。

○資源リサイクル

選別ライン整備
豊岡清掃センターに、現在、民間業者へ処理委託している

「びん・かん類」の選別ラインを設置することとし、10月発注、平成20年3月完成を目指して作業を進めています。

平成25年度稼働を目指している広域ごみ・汚泥処理施設には新たに選別ラインを設ける予定です。今回整備する施設は、平成24年度まで使用する計画です。限られた期間だけ稼働させる施設ですが、整備費とランニングコストを考慮しても、約1億円の経費削減効果が見込まれます。

○バイオマスタウン推進事業
ナタネ搾油機およびBDF精製装置を8月に購入しました。これにより、10月以降にはナタネ油を使った揚げ物を学校給食で子どもたちに提供できる予定です。また、その廃食油を順次精製し、学校給食センター配送車などで使用する予定です。本年度のナタネ栽培実証は、旧市町ごとの市内6地区に設置することとし、50アールずつ委託しました。

木質バイオマスの取組みとして、ペレットストーブ2台の購入を予定しており、民間業者等からの寄付予定の2台とともに、今年の冬までに市

民課ロビーやコウノトリ文化館等に取り付ける予定です。

持続可能な「力」を高めるまち

○大型観光交流キャンペーン
今回のキャンペーンは、兵庫県の持つ多様な魅力を全国に発信・周知し、全国からの観光客を誘致しようと、JRRとの連携で実施されます。

7月18日、観光関連など205団体が参画し、知事を会長とする「兵庫県大型観光交流キャンペーン推進協議会」が設置され、8月31日には本市でも独自の推進組織を設置しました。今後は県の協議会とも連携し、交通アクセスの構築、周遊観光ルートの設定等を進めていきます。

○北近畿豊岡自動車道

「和田山八鹿道路」は、現在工事中であり、「八鹿豊岡南道路」については、平成18年1月に都市計画決定がなされています。上佐野以北は「豊岡道路」として計画されていますが、このたび、国により、市民アンケートが実施されています。私たちの念願である豊岡道路が動き出したと言えます。また、この道路が鳥取

豊岡宮津自動車道に接続する計画となつていことから、豊岡道路の前進は、鳥取豊岡宮津自動車道の整備促進にも大きな影響を与えるものです。

今後、豊岡道路の一日も早いルート決定、都市計画決定に向けて、国に対し強力に要望していききたいと考えています。

○企業誘致

出石町中川地区に企業立地を進めていた大阪市の日本シール工業株式会社から、出石工場の移転を延期したいとの申出がありました。本市としては、工場の建設を前提に移転先用地を提供したものであり、早期の立地を期待し、今後とも協議していききたいと考えています。

○（仮称）木屋町小路整備事業

建築工事は、6月末に着工しました。ところが、当初予定していた工法での施工が困難であることが判明したため、これに伴う契約金額の変更案を工期の変更と合わせ、今議会に提出しています。

なお、工期は延びますが、オープンについては、当初の予定通り平成20年7月中旬に

行うこととしています。

○伝統的建造物群保存事業

6月に「出石伝統的建造物群保存地区」を都市計画決定しました。7月24日には、保存に対する基本的な考え方や伝統的建造物の明示、修理・修景基準などについて、「豊岡市伝統的建造物群保存審議会」から答申を受け、同日、答申どおり「保存計画」を決定し、8月1日付けで、国に対して「重要伝統的建造物群保存地区」の選定申出を行いました。

順調にいけば12月ごろには選定が正式決定される見込みで、それを受け、平成20年度から建造物の修理等の事業を推進したいと考えています。なお、保存地区では建築物の現状変更行為について一定の規制がかかるため、固定資産税の特例措置を講じたいと考えています。

未来を拓く人を育むまち

○コウノトリ

子育て支援メッセージ市では「子育てが楽しいまち」を目標としています。その実現を図るため、子どもに関する

組織を教育委員会に統合し、0歳から15歳までの子どもの育ちを一体的に捉えた保育・教育の推進に努めています。

コウノトリのヒナの誕生から巣立ち、大空に悠然と舞うに至ったこの好機に、「コウノトリ子育て支援メッセージ」として、新たに子どもと家庭を支援する各種事業を実施します。併せて、子育て支援の輪が広がるよう市民や団体等の意識を喚起し、理解を求めていきます。

人生を楽しむお互いを支え合うまち

○図書館分館と

ネットワークの整備

「豊岡市図書館施設の整備・ネットワーク基本計画」を策定し、順次整備に取り組んでいます。現在、進めている城崎分館の整備に続き、日高総合支所2階を図書館日高分館として整備するため、今年度、耐震診断と実施設計を行います。併せて、総合支所3階の旧議場を子育て支援広場として整備する実施設計も行います。

○永楽館整備

復原建築工事はほぼ予定通り進捗しており、平成20年6

月に完成させ、8月には、永楽館「平成柿落し」（仮称）を開催したいと考えています。柿落しでは、歌舞伎芝居が原点とも言える芝居小屋「永楽館」に相応しい松竹歌舞伎の興行を予定しています。

市政の運営

○都市計画税の検討状況
都市計画税については、合併協定において「新市において検討する」とこととされています。現在は豊岡地域のみに課税していますが、本来、同種の行政サービスに対し、市民の受益と負担は公平であることが求められ、是正の必要があると考えています。

都市計画税は、平成19年度予算でも計上し、今後の財政計画においても見込んでいます。仮に廃止すると、市全域を対象としたまちづくりのための投資財源がほとんど確保できないこととなります。

公平性の確保と財源確保の観点から、都市計画税の市全域での課税、あるいは他の税目の超過課税等、さまざまな選択肢について検討し、方針を定めていききたいと考えています。

市ホームページに「市長総括説明」の全文を掲載しています。